

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 6 部門第 3 区分
【発行日】令和 3 年 9 月 24 日 (2021.9.24)

【公表番号】特表 2020-536321 (P2020-536321A)
【公表日】令和 2 年 12 月 10 日 (2020.12.10)
【年通号数】公開・登録公報 2020-050
【出願番号】特願 2020-518526 (P2020-518526)
【国際特許分類】

G 0 6 F 8/61 (2018.01)

G 0 6 F 9/455 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 8/61

G 0 6 F 9/455 1 5 0

【手続補正書】
【提出日】令和 3 年 8 月 16 日 (2021.8.16)

【手続補正 1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】

【請求項 1】

サービスのためのマイクロサービスコンテナを複数のコンピューティング環境に分配する方法であって、前記方法は、

コンテナプラットフォームにデプロイされる複数のコンテナ化されたマイクロサービスでビルドされたサービスを受けるステップを含み、前記コンテナプラットフォームは複数のコンピューティング環境を含み、前記方法はさらに、

前記コンテナプラットフォームに前記サービスをデプロイするためのデプロイメント基準を受けるステップと、

前記複数のコンピューティング環境の特徴にアクセスするステップと、

前記複数のコンテナ化されたマイクロサービスを、前記デプロイメント基準と前記複数のコンピューティング環境の特徴とに基づいて、前記複数のコンピューティング環境にデプロイするステップとを含む、方法。

【請求項 2】

前記複数のコンピューティング環境はクラウドコンピューティング環境を含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記複数のコンピューティング環境はオンプレミスコンピューティング環境を含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記複数のコンテナ化されたマイクロサービスのうちの少なくとも 1 つは、1 つのコンテナポッド内の複数のコンテナを含む、請求項 1 から 3 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 5】

前記複数のコンテナ化されたマイクロサービスのうちの少なくとも 1 つは、1 つのコンテナポッド内の複数のマイクロサービスを含む 1 つのコンテナを含む、請求項 1 から 3 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 6】

前記デプロイメント基準は、前記サービスのデプロイがセキュリティについて最適化さ

れねばならないという表示を含む、請求項 1 から 5 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 7】

前記デプロイメント基準は、前記サービスのデプロイが可用性について最適化されねばならないという表示を含む、請求項 1 から 6 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 8】

前記デプロイメント基準は、前記サービスのデプロイがコストについて最適化されねばならないという表示を含む、請求項 1 から 7 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 9】

前記デプロイメント基準は、前記サービスのデプロイがレイテンシについて最適化されねばならないという表示を含む、請求項 1 から 8 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 10】

前記デプロイメント基準は、前記サービスのデプロイが前記コンテナ化されたマイクロサービスの कोरोーションについて最適化されねばならないという表示を含む、請求項 1 から 9 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 11】

1 つ以上のプロセッサによって実行されると前記 1 つ以上のプロセッサに動作を実行させる命令を含む プログラム であって、前記動作は、

コンテナプラットフォームにデプロイされる複数のコンテナ化されたマイクロサービスでビルドされたサービスを受けることを含み、前記コンテナプラットフォームは複数のコンピューティング環境を含み、前記動作はさらに、

前記コンテナプラットフォームに前記サービスをデプロイするためのデプロイメント基準を受けることと、

前記複数のコンピューティング環境の特徴にアクセスすることと、

前記複数のコンテナ化されたマイクロサービスを、前記デプロイメント基準と前記複数のコンピューティング環境の特徴とに基づいて、前記複数のコンピューティング環境にデプロイすることを含む、 プログラム。

【請求項 12】

前記複数のコンテナ化されたマイクロサービスの各々が、前記デプロイメント基準に対応する属性を含む、請求項 11 に記載の プログラム。

【請求項 13】

前記マイクロサービスの属性の値を、前記複数のコンピューティング環境の特徴とマッチングさせる、請求項 12 に記載の プログラム。

【請求項 14】

前記複数のコンテナ化されたマイクロサービスはコンテナプラットフォームスケジューラによってデプロイされる、請求項 11 から 13 のいずれか 1 項に記載の プログラム。

【請求項 15】

1 つ以上のプロセッサと、

1 つ以上のメモリデバイスとを備えるシステムであって、前記 1 つ以上のメモリデバイスは、前記 1 つ以上のプロセッサによって実行されると前記 1 つ以上のプロセッサに動作を実行させる命令を含み、前記動作は、

コンテナプラットフォームにデプロイされる複数のコンテナ化されたマイクロサービスでビルドされたサービスを受けることを含み、前記コンテナプラットフォームは複数のコンピューティング環境を含み、前記動作はさらに、

前記コンテナプラットフォームに前記サービスをデプロイするためのデプロイメント基準を受けることと、

前記複数のコンピューティング環境の特徴にアクセスすることと、

前記複数のコンテナ化されたマイクロサービスを、前記デプロイメント基準と前記複数のコンピューティング環境の特徴とに基づいて、前記複数のコンピューティング環境にデプロイすることを含む、システム。

【請求項 16】

前記複数のコンテナ化されたマイクロサービスはAPIレジストリによってデプロイされる、請求項15に記載のシステム。

【請求項17】

前記APIレジストリは、前記コンテナ環境内のコンテナにカプセル化されたサービスとしてデプロイされる、請求項16に記載のシステム。

【請求項18】

前記APIレジストリは、
統合開発環境（IDE）において開発中のサービスと、
前記コンテナ環境において既にデプロイされているサービスとが、利用できる、請求項16または17に記載のシステム。

【請求項19】

前記APIレジストリは、前記複数のコンテナポッドのサービスエンドポイントを1つ以上のAPI関数にマッピングする、請求項16から18のいずれか1項に記載のシステム。

【請求項20】

前記APIレジストリは、前記サービスをコールするために呼び出し側サービスのクライアントライブラリを自動的に生成する、請求項16から19のいずれか1項に記載のシステム。